

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	商学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 研究職コースについては、学生を定着させ5年間の学位取得者を着実にする。	→研究職コース指導委員会のあり方を再度チェックし、指導状況の報告回数。		B			
2. 専門学識コースについては、2年間で体系的かつ高度な専門知識を提供する。	→修士論文の成績評価および修士学位取得者としての就職状況。		B			
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.1.1	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない (学位授与方針) 前期課程では、研究職コース学生に対しては、博士論文執筆のための研究能力の基盤を養うことに主眼を置き、博士論文の部分的・中間的作品として修士論文を位置づけています。そのため、主分野に特化するのではなく、主分野以外に必要と考えられる分野についての履修を促して、商学に関する幅広い基盤を得させることを目的とするため、学位は修士（商学）が授与されます。その上で、後期課程において独創的な理論研究を行って博士論文を提出することによって、博士（商学）の学位が授与されます。 これに対して専門学識コースにおいては、前期課程において専門性を高めるため、主分野に特化して、理論的な思考力・分析力を2年間で完結的に養うことに主眼を置き、その集大成として修士論文を位置づけます。したがって、学位は特化した主分野を明記し、修士（経営学）、修士（会計学）、修士（マーケティング）、修士（ファイナンス）、修士（ビジネス情報）、修士（国際ビジネス）が授与されます。 (説明) 「研究職コース」「専門学識コース」それぞれにおける授与方針を設け、本研究科のホームページ等に明示している
★小項目6.1.2	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない (現状説明) 商学研究科においては「研究職コース」と「専門学識コース」が設定されており、その名称が示すとおり、研究職を目指す者と企業等において専門職に就く者とを区分して受け入れ、それぞれの教育目標に応じた教育を行い、学位を授与している。 (説明)
小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
	(周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 周知・公表している <input type="radio"/> 周知・公表していない (説明) 関西学院大学のホームページにリンクされた商学研究科独自のホームページや商学研究科生に配布している履修要項において学位授与方針、教育課程の編成・実施方針が明示公表、周知されている。
小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
	(検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない 執行部および研究科委員会において、検証し、必要に応じ適宜議論し、改善を重ねている。
その他	

《評価指標データ》

- カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
- 必修・選択ごとの開設授業科目数
- 系列別卒業必要単位数

★ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 **注) 出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。**

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

《次年度に向けた方策(1)》**伸長させるための方策**  **注) 出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。**

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項		注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。
小項目6.1.1		
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3		
小項目6.1.4		
その他		

↓

《次年度に向けた方策(2)》改善方策		注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。
小項目6.1.1		
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3		
小項目6.1.4		
その他		

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

< 評価専門委員会の評価 >

【学外委員】
 ○「目標」1の進捗評価が昨年のAからBになっていますが、どのような根拠・判断によるものでしょうか。記述が望まれます。
 ○「学位授与方針」が明確にされ、公表されていることは評価できます。

【学内委員】
 ○現状説明の小項目6.1.2では、まず方針そのものを記述し、そのあとに説明を付してください。小項目6.1.3では周知の有効性についても説明することが求められます。目標1では、進捗評価が2009年より下がっていますが、この理由は何でしょうか。
 ○学位授与方針、教育課程の編成・実施方針は、要素、大学基準協会の留意事項、参照基準を参考にされた記述が求められます。
 ○小項目6.1.4については、大学基準協会の留意事項を参照してください。

○昨年度の次のコメントは本年度もそのままコメントとします。
 ・自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことのわかる必要があります。そのためにも、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。
 ・目標・指標の記述には誤りがあり文意が不明です。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】
 ○小項目6.1.1
 基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件・修了要件）等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」
 達成度評価：なし
 ○小項目6.1.2
 基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」
 達成度評価：なし
 ○小項目6.1.3
 基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」
 達成度評価：なし
 ○小項目6.1.4
 基盤評価：なし
 達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

いったん作成した目標は修正できないとお聞きしていますので、目標はそのままです。

目標1の進捗度がAからBになっているのは、学位取得プロセス図が設定され、履修要項などで学生に周知、公表されているが、ホームページに掲載されていないためである。今後は、ホームページに掲載し、社会に対しても公開し、さらなる公表、周知を行う予定である。

《現状の説明》小項目6.1.2の(現状説明)を(方針)に変更し追加記述
 「両コースともに前期課程1年の段階で、経営、会計、マーケティング、ファイナンス、ビジネス情報、国際ビジネスの6分野から指導教授の所属する分野を「主分野」として選択します。そして、前期課程において、大学院教員による少人数での講義科目と、主分野の指導教授による演習指導を通じて、研究職コースにあつては博士学位論文作成に至る中間成果として、専門学識コースにあつては2年間の研究活動の集大成として修士論文の作成に取り組みます。

★ 後期課程においては前期課程に引き続き博士学位論文の完成を目指し、指導教授を中心とした博士論文指導委員会の指導を受けながら、3年の課程内での博士学位取得、遅くとも後期課程進学後5年以内の博士学位取得に取り組みます。」

《現状の説明》小項目6.1.2の(説明)に追加記述
 「ホームページおよび履修案内において明示されている。」

《現状の説明》小項目6.1.3の文中「明示」を「公表、周知」へ修正

《現状の説明》小項目6.1.4の記述を修正(文言の挿入)
 「執行部および研究科委員会において、検証し、必要に応じ適宜議論し、改善を重ねている。」